

## ＜今朝の聖書から＞

村上定幸

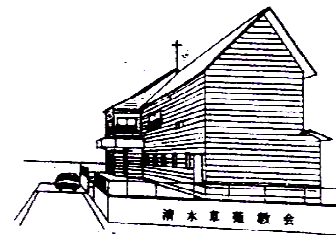
【一番大切】旧約聖書の中で、一番大切なのはどこですか、というのはたいた質問ではないかもしれませんが、実は聖書自身が主張している箇所があります。日常読む英文などには、大文字小文字というのがあって、小文字から始まると“何かの途中かな”と思うことがあります。文の始めや固有名詞を大文字で書き始めることにするというのは、一つの知恵で、読みやすくしています。日本語はこのような知恵の持ち合わせがなかったもので、こんな区別はありません。旧約聖書のヘブライの言葉も同じで、新約聖書のギリシャ語については、別にみてる時があると思います。旧約聖書は書き写され、伝えられてきましたが、きちんと書き写されていることが確認されると、古いものは廃棄されました。ですからそんなに古い聖書は残っていません。考古学的研究の対象ということをして別にする、BHKとかBHSという聖書が用いられています。さて大文字小文字ですが、この聖書にも区別はありません。ところが、申命記 6:4 の聖句の途中の二文字だけが大きく書かれています。“聞け、イスラエルよ。我らの神、主は唯一の主である”というところ。大きな文字で書かれたところが大切ということだと、この所が、旧約聖書の最重要聖句になります。目印のように大きく書かれています。

【伝え、記念する】今朝の聖書箇所中心は“伝えて行く”ということです。伝えられなかった人には、そのことを責めるわけにはいきません。問題は伝える側のことです。そして“あなたのために伝える”ということより、伝える者のために伝えるということに中心が置かれています。“子供たちに繰り返し教え、家に座っているときも道を歩くときも、寝ているときも起きているときも、これを語り聞かせなさい”とあります。神の言葉を聞き人に伝えるのです。聖書はこのことで満ちているということになるようです。このようにしてイスラエルは、自らを守って来ました。新約聖書でいうと、どれだけ主の十字架と復活の出来事を伝えることで、教会が自らを守っているかということになります。私たちが聞かされた歴史上の出来事です。十字架と復活以外に教会は見を守れないのです。

【伝えるのは大切】“自分は確かに自分でありこのような者である”という確認をアイデンティティーという言葉で説明する時があります。聖書にも“自分を知る”ということの大切さを記した箇所が沢山ありますが、出エジプト記 1:8 がまず思い浮かびます。“そのころ、ヨセフのことを知らない新しい王が出てエジプトを支配し”がそれです。パロは伝えるということに熱心ではありませんでした。しかしイスラエルの人々は、頑なに伝えつづけました。出エジプトの出来事がこのことによって導かれたといっても良いかもしれません。今の教会はどれほど伝え続けているのでしょうか。問い直したいものです。もう一つ“忘れる事の寂しさ”を新約聖書からみましょう。マタイ 2:3 画素の箇所です。“これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった”とあるところ。今度はユダヤ人たちが、救いの到来を忘れ、キリストを拒んだのです。“エルサレムの人々も皆、同様であった”というのは恐るべき記録です。信仰者のアイデンティティーを、そして主の約束から離れている姿を示しています。“あなたは神の子キリスト”というトマス告白に立ち返りましょう。

# 週報

2012年 2月 5日



伝えよう 救い主を  
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

|         |   |          |
|---------|---|----------|
| ユース礼拝   | 毎日曜日  | 午前 9:00  |
| 礼拝式     | 毎日曜日  | 午前 10:30 |
|         | (聖餐式 第一日曜日)   |          |
| 夕礼拝式    | 毎日曜日  | 午後 7:00  |
| エステルのお会 | 毎水曜日  | 午前 10:30 |
| 聖書研究祈禱会 | 毎水曜日  | 午後 7:00  |
| ホームページ  | <a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a> |          |

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

振替口座 00890-6-214042